
優のタノシイヒビ

ししとう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

優のタノシイヒビ

【Nコード】

N0597D

【作者名】

ししとう

【あらすじ】

肉を刃物で刺す音が聞こえる。何度も何度も 刺す音。(これは作者が雰囲気だけで書き始めた小説です。見苦しい文もあるかもしれません。そこは見逃してください)

(前書き)

少しヤンデレというものを書きたくなり、無謀にも挑戦してみました。これはまだプロットも途中なんですが・・・(笑)
続きを読んでみたいなって人は感想をいただけたらうれしいです。

くちや・・・くちや・・・

肉を刃物で突き刺す音。

その音は何度も聞こえる。

くちや・・・くちや・・・くちや・・・くちや・・・

くちや・・・くちや・・・くちや・・・くちや・・・

血は刃物を伝い、床へとぽたぽたと落ちていく。

刺されているのは何だ？

くちや・・・くちや・・・くちや・・・くちや・・・

あれ？

見えない。何も見えない。

目を開けたいのに、僕の目は開かない。

指を動かしたいのに、指は動かない。

足を動かしたいのに、足は動かない。

そうか・・・刺されているのは　僕だ。

僕は刺されているんだ。

誰に？

分からない。でも、女の人が僕を刺していた気がする。

最後に見た女の人の顔は笑ってた。

目も

口も

鼻も

女の人は笑って僕を刺していた。

僕はそれを黙って見ているしか出来ない。

くちや・・・くちや・・・

女の人は何かをぶつぶつ言いながら僕を刺し続ける。

僕はせめてものの抵抗で、聞き耳を立てる。

女の人は何を言っている？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0597d/>

優のタノシイヒビ

2010年10月21日23時58分発行